

令和4年度

事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

学校法人 志學館学園

目 次

I 建学の精神	P.1
II みおしえ	P.1
III 志學館学園の概要	P.2～10
1. 各学校の基本理念等	P.2～3
(1) 志學館大学	P.2
(2) 鹿児島女子短期大学	P.2
(3) 志學館高等部・中等部	P.3
(4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園	P.3
(5) なでしこ保育園	P.3
2. 志學館学園の沿革	P.4～5
3. 志學館学園の組織	P.6
4. 各学校等の所在地	P.6
5. 志學館学園の役員	P.7
6. 各学校の状況	P.8～10
(1) 令和 4 年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数	P.8
(2) 令和 5 年度 入学定員・入学者数	P.9
(3) 令和 4 年度 教職員数	P.10
IV 令和 4 年度 学校法人志學館学園 事業報告	P.11～30
1. 令和 4 年度短期事業計画の進捗状況	P.11
2. 令和 4 年度短期事業計画の具体的な取組内容	P.12～17
(1) 志學館大学	P.12
(2) 鹿児島女子短期大学	P.12～13
(3) 志學館高等部・中等部	P.13
(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園	P.14
(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園	P.14
(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園	P.15
(7) なでしこ保育園	P.15
(8) 学園本部	P.16
(9) 6 か年施設設備投資計画事業執行状況	P.16～17
3. 令和 4 年度設置校別事業計画達成度評価	P.18～29
4. 令和 4 年度設置校別 KPI 達成度評価	P.30

V 財務の概要	P.31~41
1. 令和4年度決算の概要	P.31~33
① 事業活動収支計算書関係	P.34
② 資金収支計算書関係	P.35~36
③ 貸借対照表関係	P.37
2. その他	P.38
3. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分	P.39
4. 学校法人会計及び用語について（解説）	P.40
5. 監査報告書	P.41

I 建学の精神

「時代に即応した堅実にして有為な人間の育成」

- 「時代に即応した」とは、情勢の変化に対応して、合理的で効果的、かつ弾力的な運用を図るべきことを意味する。
- 「堅実にして」とは、人間としての教養・徳をつけること、つまり人間としての豊かさ等を意味していると解釈する。
- 「有為な人間」とは、豊かな人間性の上に、健康な体、強い意志、創造力と企画力、集団への適応と貢献の能力、科学や情報に対する理解と技術、国際人としての教養等を身につけ、国家・社会の発展に寄与しうる人間、即ち「実用」と「教養」を実現できる総合力を身につけた人間をさすものである。

II みおしえ

雪のごとく清らかに

月のごとく明らけく

花のごとく撫子の強くやさしく

創設者満田ユイは、「建学の精神」を具体的に実践する時の心構えとして親しみやすく理解するようにと、中国の詩人、白居易の詩を引用し、それになぞらえて「みおしえ」とした。根底に「人間愛」を含んだ上で、詩にある「雪、月、花」になぞらえて、雪は「清浄と貞節」を、月は「聡明な明るさと静寂」を、花は「大和撫子を現し、日本女性の美德とやさしさと芯の強さを現すもの」として説明した。

しかし、1986年「建学の精神」の改訂を機に、今ではその女性的な文体表現にかかわらず「清く、明るく、強く、やさしく」というその内容が人間としての在り方、人の美しい生き方を表すものとして脈々と学園に継承されている。

現在「雪、月、花」は「建学の精神」を具体的に実践する時の心根を象徴するものとして、学園章・校章・学園旗及び校旗となっている。

Ⅲ 志學館学園の概要

1. 各学校の基本理念等

(1) 志學館大学

【使命】

教養と実践的な専門の学芸を体系的に教授研究し、科学的・論理的思考法、現代社会に必要な技能及び総合的な問題発見・課題解決能力を身につけ、自主性・創造性と社会に貢献する態度・志向性を持っている堅実・誠実な職業人を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

- 1 個性的かつ堅実な人間性、自主性、創造性が身につけている。
- 2 人類の文化、社会と自然に関する豊かな教養と科学的・論理的思考法、情報処理技術、コミュニケーション能力を身につけ、自ら学ぶことの喜びを知っている。
- 3 実践的で体系的な専門的知識と技能を身につけ、総合的な問題発見・課題解決能力を持っている。
- 4 職業観を持ち生涯学習し続ける能力を有している。
- 5 倫理観を持った市民として地域社会の発展に貢献する高い意識を持っている。
- 6 多様な言語・社会・文化を理解し、国際人として活躍する素地を持っている。

(2) 鹿児島女子短期大学

【教育理念】

建学の精神の下、学園の伝統を継承しつつ、最新の知識と専門の学芸を教授研究し、創造力・実践力に富み、家庭に社会に個人の持つ可能性を具現できる高い教養と人間性豊かな女性を育成するとともに、国際的視点に立って社会の充実発展に寄与する人材の育成に努める。

【教育目標】

- 1 豊かな情操と高い教養を培い、心身ともに健康で調和のとれた人間像を目指して自己啓発を促す。
- 2 現代生活に即した専門的知識と実践的スキルを習得させ、自ら課題に対応する能力と創造性の発揚に努める。
- 3 人間関係に適切に対応し得る能力を養成し、その能力を円滑に機能させる社会性を培う。
- 4 自ら判断し行動する主体性を涵養し、家庭や職場の有為な人材の育成に努める。
- 5 地域との密接な連携に基づく実践的教育により、地域活性化の意欲的な担い手の育成を目指す。
- 6 国際理解の教養と態度を育成し、洗練された国際人となる素地を習得させる。

(3) 志學館高等部・中等部

【教育理念】

清新な発想のもとに「たしかな学力、ゆたかな人間性、たくましい行動力」を身につけた心身ともに健やかな人間を育成する。

【教育方針】

男女共学の進学校として学力開発と人間性開発を推進し、個性の伸張を図るとともに高い教養、豊かな情操を養い、意欲と情熱をもった自己教育力のある人間を育成する。

(4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園

【教育目標】

一人ひとりの幼児の個性を伸ばし、豊かな心情や主体性・創造性を育て、心身ともに健全な人間の生きる力の基礎を培う。

【めざす幼児の姿】

げんきであかるい子 なかよくあそぶ子 よくかんがえくふうする子

(5) なでしこ保育園

【保育方針】

- 1 一人一人を大切に丁寧な保育を行い、自立した生活習慣を身につけ、健康な体、豊かな情緒、素直な表現力をもてる子どもの育成に努める。
- 2 身近な環境や自然と触れ合う中で豊かな感性を育み、創造力をふくらませ、友達との関わりの中で秩序や協調性をもてる子どもの育成に努める。

【保育の目標】

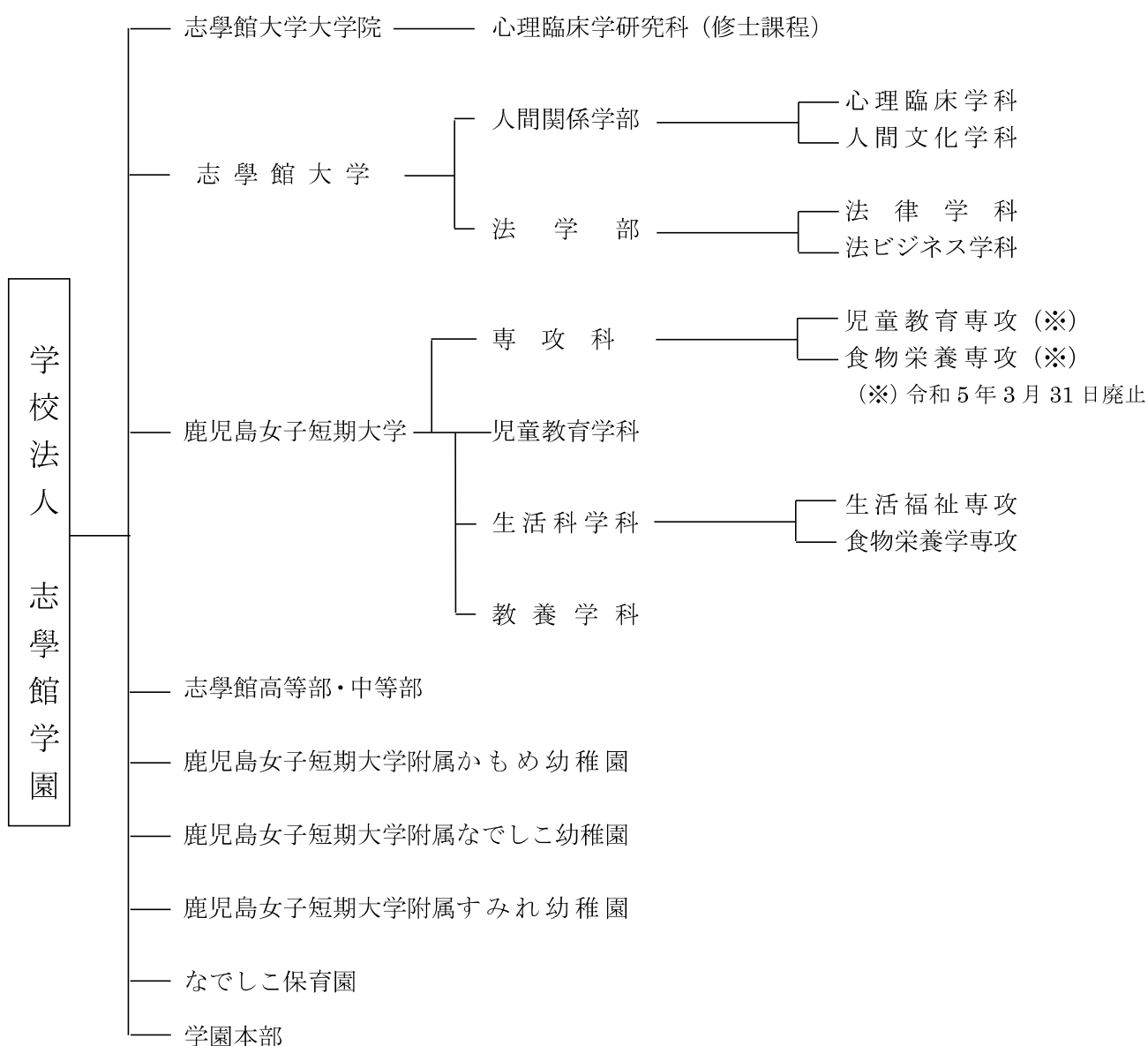
「一人一人を大切に感性豊かな子ども」の育成を目指す。

2. 志學館学園の沿革

明治	40年	8月	鹿児島女子手藝伝習所開設
	41年	2月	鹿児島女子技藝學校設置認可
大正	15年	6月	鹿児島女子技藝學校の名称を鹿児島高等實踐女學校と改称認可
昭和	23年	4月	学校教育法第1条に定める高等学校に昇格、鹿児島実践女子高等学校と改称
		4月	財団法人実践学園設立認可
	26年	2月	財団法人の組織を変更し、私立学校法に定める学校法人実践学園設立認可
	31年	4月	鹿児島実践女子高等学校全日制普通科開設
	35年	4月	鹿児島実践学園幼稚園教員養成所開設（昭和41年3月31日廃止）
	38年	5月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園設置認可
	40年	1月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園を鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園と改称認可
		4月	鹿児島女子短期大学開設（幼児教育科）
	41年	4月	鹿児島女子短期大学家政科開設
	42年	4月	鹿児島女子短期大学教養科開設
	42年	12月	鹿児島女子短期大学家政科を食物栄養学専攻、家政専攻に専攻分離認可
	43年	4月	鹿児島女子短期大学幼児教育科を児童教育科に改称
		4月	鹿児島実践女子高等学校に食物科設置
	46年	4月	鹿児島女子短期大学児童教育科を児童教育学科とし、その専攻を初等教育学専攻、幼児教育学専攻。家政科を家政学科とし、その専攻を家政学専攻、食物栄養学専攻。教養科を教養学科とし、それぞれ学科名、専攻名を名称変更
	49年	4月	鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園開設
	50年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科の専攻を被服学専攻、家政学専攻、食物栄養学専攻に分離変更
	54年	4月	鹿児島女子大学文学部（国文学科・英文学科・人間関係学科）開設
	58年	4月	鹿児島実践女子高等学校の校名を鹿児島女子大学附属高等学校と改称
	61年	4月	鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園開設
	62年	4月	志學館中等部開設
	63年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科（児童教育専攻・家政専攻・食物栄養専攻・教養専攻）開設
平成	1年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科を生活科学科に名称変更
	2年	4月	志學館高等部開設
	4年	4月	鹿児島女子大学文学部英文学科を英語英文学科に改称

	7年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科家政専攻を生活科学専攻に改称
11年	4月		学校法人実践学園を学校法人志學館学園と改称
	4月		鹿児島女子大学を志學館大学と改称し、法学部法律学科を開設
	4月		鹿児島女子短期大学生活科学科に生活福祉専攻を開設
	4月		鹿児島女子大学附属高等学校を鹿児島学芸高等学校と改称
15年	4月		志學館大学文学部を募集停止し、人間関係学部心理臨床学科・人間文化学科を開設
17年	4月		志學館大学大学院心理臨床学研究科（修士課程）設置
18年	3月		鹿児島学芸高等学校廃止
19年	4月		学校法人志學館学園 なでしこ保育園開設
20年	4月		志學館大学法学部法ビジネス学科開設
21年	4月		鹿児島女子短期大学を鹿児島市紫原から鹿児島市高麗町へ移転
22年	4月		鹿児島女子短期大学児童教育学科の専攻を廃止し学科に統合
23年	4月		志學館大学を霧島市隼人町から鹿児島市紫原へ移転
31年	3月		鹿児島女子短期大学生活科学科生活科学専攻及び専攻科生活科学専攻を廃止
令和	5年	3月	鹿児島女子短期大学専攻科児童教育専攻及び専攻科食物栄養専攻を廃止

3. 志學館学園の組織



4. 各学校等の所在地

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・志學館大学 | 鹿児島市紫原1-59-1 |
| ・鹿児島女子短期大学 | 鹿児島市高麗町6-9 |
| ・志學館高等部・中等部 | 鹿児島市南郡元町32-1 |
| ・かもめ幼稚園 | 鹿児島市紫原1丁目19-20 |
| ・なでしこ幼稚園 | 鹿児島市明和2丁目41-1 |
| ・すみれ幼稚園 | 鹿児島市皇徳寺台4丁目44-1 |
| ・なでしこ保育園 | 鹿児島市明和2丁目41-1 |
| ・学園本部 | 鹿児島市高麗町5-27 |

5. 志學館学園の役員〔令和5年3月31日現在〕

*理事 7人以上9人以内 現員8人

役員名	勤務	氏名	現職
理事長	常勤	志賀 啓一	志學館学園理事長
理事	〃	志賀 壽子	志學館学園学園長
〃	〃	飯干 紀代子	志學館大学学長
〃	〃	阿部 哲郎	志學館学園本部事務局長
〃	〃	村若 修	鹿児島女子短期大学副学長
〃	非常勤	清水 昭雄	志學館大学元学長
〃	〃	若松 伸一	株式会社ワカマツ自動車代表取締役
〃	〃	吉田 健朗	株式会社南日本総合サービス代表取締役社長

*監事 2人又は3人 現員2人

役員名	勤務	氏名	現職
監事	非常勤	大津 学	株式会社大津倉庫代表取締役社長
〃	〃	久永 修平	株式会社久永代表取締役社長

*評議員 17人以上19人以内（ただし、理事の2倍を超える人数）

現員 志賀 啓一 他16名

6. 各学校の状況

(1) 令和4年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数

令和4年5月1日現在

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍者数
志 学 馆 大 学	大 学 院 (心理臨床学研究科)	人 10	人 15	人 20	人 26
	人間関係学部 (心理臨床学科) (人間文化学科)	200	206	790	870
		130	137	526	589
		70	69	264	281
	法 学 部 (法 律 学 科) (法ビジネス学科)	145	145	575	629
				361	426
	大学 計	355	366	1,385	1,525
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	児童教育学科	210	210	420	405
	生活科学科 (生活福祉専攻) (食物栄養学専攻)	80	53	160	123
		20	6	40	18
		60	47	120	105
	教 養 学 科	80	94	160	185
	専 攻 科 (※)	40	0	40	0
	短大 計	410	357	780	713
志 学 馆 高 等 部		160	94	480	263
志 学 馆 中 等 部		120	70	360	228
か も め 幼 稚 園		—	—	260	202
な で し こ 幼 稚 園		—	—	240	141
す み れ 幼 稚 園		—	—	180	175
学 園 合 計		1,045	887	3,685	3,247

(※) 専攻科は令和5年3月31日廃止

【附帯事業】

なでしこ保育園		—	—	40	45
---------	--	---	---	----	----

(2) 令和5年度 入学定員・入学者数

令和5年5月1日

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数
志 學 館 大 学	大学院 (心理臨床学研究科)	人 13	人 15
	人間関係学部 (心理臨床学科)	200 130	186 146
	(人間文化学科)	70	40
	法 学 部	145	123
	大学 計	358	324
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	児童教育学科	210	171
	生活科学科 (生活福祉専攻)	80 20	57 10
	(食物栄養学専攻)	60	47
	教 養 学 科	80	75
	短大 計	370	303
志 學 館 高 等 部		160	86
志 學 館 中 等 部		120	95

(3) 令和4年度 教職員数

令和4年5月1日現在

学校名		理事長	教育職員	事務職員等	合計
志學館大学			58	34	92
鹿児島女子短期大学			44	29	73
志 學 館	高等部		22	5	27
	中等部		25	6	31
	小計		47	11	58
かもめ幼稚園			15	2	17
なでしこ幼稚園			11	2	13
すみれ幼稚園			12	2	14
学園本部		1		14	15
合計		1	187	94	282
なでしこ保育園				18	18
合計(含む保育園)		1	186	113	300

* 上記は専任教職員数

IV 令和4年度 学校法人志學館学園 事業報告

令和4年度を初年度とする第4次経営計画「志學館未来計画 2022-2027」は、各設置校及び学園本部において「基本計画」⇒「取組戦略」⇒「具体的な取組み内容」と計画から戦略へと展開し、6か年の行動の指針となる「施策」を策定したものです。令和4年度はその初年度として、学園全体で449の事業計画を推進いたしました。

1. 令和4年度短期事業計画の進捗状況

◆ 評価結果

評価区分	S	A	B	C	D	小計	N	合計
(達成率)	101% ～	100%～ 80%	79%～ 50%	49%～ 20%	19%～ 0%	-	見直 施策	-
志學館大学	13	70	35	11	15	144	1	145
鹿児島女子短期大学	2	48	30	3	2	85	2	87
志學館高等部・中等部	0	20	23	5	5	53	0	53
かもめ幼稚園	4	7	13	7	1	32	0	32
なでしこ幼稚園	1	21	6	2	1	31	0	31
すみれ幼稚園	3	11	13	3	4	34	0	34
なでしこ保育園	1	12	5	2	0	20	0	20
学園本部	0	18	25	4	0	47	0	47
計	24	207	150	37	28	446	3	449

◆ 達成度

評価区分	S	A以上	B以上	C以上	D以上
志學館大学	9%	58%	82%	90%	100%
鹿児島女子短期大学	2%	59%	94%	98%	100%
志學館高等部・中等部	0%	38%	81%	91%	100%
かもめ幼稚園	13%	34%	75%	97%	100%
なでしこ幼稚園	3%	71%	90%	97%	100%
すみれ幼稚園	9%	41%	79%	88%	100%
なでしこ保育園	5%	65%	90%	100%	100%
学園本部	0%	38%	91%	100%	100%
計	5%	52%	85%	94%	100%

※施策を計画化し実行している「B」以上は、学園全体で85%となりました。

2. 令和4年度短期事業計画の具体的な取組内容

(1) 志學館大学

《Ⅰ. 教育・研究活動》

- ・令和5年度に Society 5.0 基礎プログラムを開設する。ESD プログラムも含めて 3P との整合性を検証し、全学縦断横断型プログラム教育を含むよう CP を改正
- ・入学前教育の整備として講義視聴課題 2 回分を作成し、入学予定の対象学生に発送
- ・教職課程の自己点検報告書を作成。第三者評価を全国私立大学教職課程協会に依頼予定
- ・TA・SA 制度の点検と改善に関して、外国語科目で SA 及び留学生 SA を実施
- ・学生の履修行動を分析し、共通教育・専門教育の卒業要件単位の改正を実施
- ・志學館 STD に従った学修達成度を分析し、IR 報告書を作成

《Ⅱ. 学生支援・キャリア形成支援》

- ・学修支援における学生支援センターと高大接センターの役割分担を明確化し制度化
- ・学修困難者の早期発見と支援のため、父母等との面談を含む連携システムの構築に着手
- ・資格取得に関する講座内容のレビューならびにレジュメについて共有体制を構築

《Ⅲ. 管理運営》

- ・開講科目数、S/T 比など現状の基本的な分析を行い、教員配置等の根拠資料を作成
- ・図書館で新規事業「志學館大学図書館読書マラソン 2022」を実施、これによる利用状況の変化を継続的に検証

《Ⅳ. 学生受入れ》

- ・リクエスト講義の過去 10 年間の資料を分析しリクエストゼミを企画
- ・大学院入試の面接試験採点基準を検証・改善しフォーマットの精査を実施

《Ⅴ. 社会連携》

- ・2022 年度実施の全授業から「地域課題」「地域」に関する授業科目を抽出し現状を把握
- ・協定締結先と年度内の活動を通じて個別に協議を実施

(2) 鹿児島女子短期大学

《Ⅰ. 教育研究活動》

- ・学科・専攻・コース毎に各期における成績一覧等の資料を用いて学生の学修状況を把握
- ・包括連携協定を結んでいる MBC より講師を派遣いただき授業を実施
- ・次年度教育課程にデジタル教育プログラムを設け関連科目を新設
- ・他大学の学修ポートフォリオに関する情報収集を行い、本学の学修成果把握に活かす運用についての検討に着手
- ・各学科のキャリアガイダンス・キャリア科目の充実化を図り、教養学科では就活に向けてキャリアデザインで企業訪問・面接練習等を計画・実施

《Ⅱ. 学生支援》

- ・成績特待生の継続審議の基準を相対評価（順位）から絶対評価（GPA）に変更
- ・児童教育学科小・幼・保コースの学生へノートパソコンの貸与を行い授業に活用
- ・進路支援活動記録に教員への相談内容も書き込み、閲覧を可能としより厚いデータを集積

《Ⅲ. 管理運営》

- ・令和4年度大学設置基準等の改正に伴い学則改正等の手続きを実施
- ・コンプライアンス研修を教員と職員それぞれに年4回実施

《Ⅳ. 学生受入》

- ・前年度入試とAPの検証を選抜方法別に行い、いずれの選抜方法においてもAPに掲げる「求める能力」のいずれかを評価していることを確認
- ・総合型選抜における事前エントリー枠や高校との連携協定の導入を検討

《Ⅴ. 社会貢献》

- ・新たに垂水市と連携協定を締結し、鹿屋市高隅地区との連携活動も活発に実施
- ・リカレント教育の一環として管理栄養士国家試験受験対策講座を11回開講

(3) 志學館高等部・中等部

《Ⅰ 進学校としての教育活動の推進》

- ・教育理念、教育方針の共通理解を時間割に組み込み定期的に開催
- ・授業へのICT活用としてスタディサプリの利用やTeamsでの課題提出を実践
- ・短期間ながらコロナ禍以降初めての留学生受け入れを実施
- ・学校全体と高等部3年生向けの卒業生講演会と3回の進路後援会を再開

《Ⅱ. 教育環境の充実》

- ・高等部普通教室（9教室）に無線LANを整備
- ・生徒ホール（食堂）と普通教室4教室の改修工事を実施

《Ⅲ. 機能的な学校運営》

- ・校務分掌の再構築として部を新設し協働体制を構築
- ・職員研修を学期1回程度は実施し各種スキルの向上を推進
- ・中等部において特別特待奨学金を新設

《Ⅳ. 生徒募集対策》

- ・授業見学会（年7回）、地方での入試個別説明会、オープンスクール（2回）を開催
- ・入試広報部が設置され係を増員し募集対策活動に対応

《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・2期生の卒業生講演会を7月に実施、2月末の同窓会入会式と卒業生講話を再開
- ・志學館大学40周年記念館記念行事で探究活動中高ポスターセッションを実施
- ・鹿児島県とNTTドコモ九州支社と志學館大学連携の「かごしま未来創造ビジョン」に中大連携で周知プロジェクトを実施

(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園

《Ⅰ. 幼稚園教育》

- ・日々の教育実践を通して職員のスキル向上と幼児教育重要性の理解の定着を推進
- ・幼保小連絡会における情報交換等、就学に向けたアプローチカリキュラムを実践

《Ⅱ. 制度・設備》

- ・コロナ禍のため後援会、クラス役員の活動計画を改善
- ・教育活動内にタブレットのカメラ機能の活用を組込

《Ⅲ. 管理運営》

- ・マニュアルの一元管理による業務内容の精査を実施

《Ⅳ. 園児募集》

- ・未就園児クラブの活動内容の精査と未就園児を対象とした体験入園の実施
- ・Instagram アカウントを開設し情報発信に活用

《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・未就園児親子を対象とする園庭開放を再開
- ・姉妹園三園での合同夏季研修会を開催

(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園

《Ⅰ. 幼稚園教育》

- ・姉妹園でも活用する教育課程の改定を当園の担当で実施
- ・就学に向けて「移行支援シート」を活用して各小学校や市教委と連携

《Ⅱ. 制度・設備》

- ・朝の預かり保育の利用実態の把握と対応体制の構築を実施
- ・リズム室に空調機を導入し園児の活動環境を改善
- ・全教室、リズム室からネットワークにアクセス可能となるよう無線 LAN 環境を改善

《Ⅲ. 管理運営》

- ・「安全管理マニュアル」と「園バス運行マニュアル」の内容を見直し再作成

《Ⅳ. 園児募集》

- ・未就園児クラブを 13 回開催、実際に幼稚園の教育課程で実践している内容で実施
- ・幼稚園の活動を紹介するイメージ動画を作成し YouTube 上に公開

《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・明和地域校区公民館運営協議会総会、明和校区スクールゾーン委員会の校区会合等に出席
- ・鹿児島女子短期大学のリモート授業において本園新規採用者が園の活動内容について説明

(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園

《Ⅰ. 幼稚園教育》

- ・教育課程の実施状況の評価及び改善（指導計画への朱書き）の実施
- ・幼児期のおわりまでに育てて欲しい 10 の姿を踏まえたアプローチカリキュラムの編成

《Ⅱ. 制度・設備》

- ・後援会活動の新たな取組として制服リサイクル販売を開催
- ・砂場日除けテントと固定施設（遊具）の改修・修繕を実施

《Ⅲ. 管理運営》

- ・早番出勤時のノー残業の徹底
- ・夏季休業期間中及び課業日の講師招聘による職員研修（4回）の実施

《Ⅳ. 園児募集》

- ・Instagram アカウントを開設し情報発信に活用
- ・折込チラシ作成、配布による未就園児クラブ会員募集活動の実施

《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・校区文化祭への園児の作品展示発表を実施
- ・園庭開放（2回）と文庫開放（8回）を再開

(7) なでしこ保育園

《Ⅰ. 保育》

- ・保育全体計画に基づく月案、週案を作成し意図的、計画的な保育を実践
- ・食育全体計画に基づき夏野菜や稲の栽培などを計画的に実践

《Ⅱ. 制度・設備》

- ・職員の業務用 PC を増台し業務効率化を推進

《Ⅲ. 管理運営》

- ・保護者との連絡帳を保育管理システムを活用する等業務のシステム化が具体化
- ・職員のキャリアアップ研修受講を推進

《Ⅳ. 園児募集》

- ・ホームページを活用した情報発信（月 10 回以上）を実施

《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・園見学会を定期開催し 16 組が参加
- ・幼保小が連携する研修活動（小学校 3 回、幼稚園、保育園 2 回）を計画し実践

(8) 学園本部

Ⅰ. 「経営力」の向上

- ・ 理事長懇談会から常務会、評議員会、理事会へと議案整理を行う会議運営の実施
- ・ 監査室と監事、監査法人の連携を図り実効性の高い監査体制を維持
- ・ 私立学校法改正法骨子等の情報を収集し各種会議で動向を報告
- ・ 改正公益通報者保護法の施行に伴い公益通報に関する規程を新設
- ・ 予算編成方針に沿って月次の予算執行管理を実行
- ・ 修学支援制度と学園特待制度の奨学金の関連分析を行い費用対効果を検証

Ⅱ. 「組織力」の強化

- ・ 勤務形態の見直しを目的に就業規則、服務規程、施行細則を改正し、育児介護にも対応できる「在宅勤務に関する規程」を新設
- ・ 幼稚園の教育体制支援事業（教育支援体制整備事業費交付金）を活用した処遇改善手当制度を開始
- ・ 人事考課の評価者を対象としたマニュアルを作成し研修会を実施

Ⅲ. 「革新力」の創出

- ・ 学園全体のネットワーク網にダークファイバーを導入
- ・ 各幼稚園のクラス担任補助教諭、預かり担当等の配置及び非常勤教職員の勤務体制を一覧化して現状把握を実施
- ・ 設置校を横断しての募集広報に関する情報共有会を開催
- ・ 学園の将来構想検討のため学部・学科のトレンドについて調査を実施
- ・ 手数料収入増加のため自動車学校や不動産仲介業者等との連携を強化

(9) 6か年施設設備投資計画事業執行状況

1. 40周年記念館繰越工事事業

- 講義棟から40周年記念館への渡り廊下建設と周辺舗装工事（令和4年度執行）
- 40周年記念碑設置（隼人キャンパス跡地）（令和4年度執行）

2. 志學館大学キャンパス整備事業

- 正門右側法面工事・カフェテリア前後法面工事（令和4年度執行）
- 図書館防犯施設の更新（令和4年度執行）

3. 志學館大学すみれ寮改修工事事業

- 解体・舗装・フェンスの設置工事（令和4年度執行）

4. 鹿児島女子短期大学キャンパス整備事業

- 南館エレベーター改修キュービクル取替え工事（令和4年度）
- 西館側溝改修工事（令和4年度）

5. 志學館中高等部キャンパス整備事業

- 本館教室内改修工事 ICT 機器導入による教材等の更新（令和4年度実施、令和5年度以降も継続）
- 生徒ホール床面の更新と壁紙の模様替え（令和4年度実施）

6. 三附属幼稚園園内改修工事事業

- なでしこ幼稚園リズム室空調設備取り付け工事（令和4年度実施）

7. 学园内車両・バス更新事業

- 志學館大学マイクロバス更新（令和5年度に繰越）

3. 令和4年度設置校別事業計画達成度評価

組織名称	志 学 館 大 学
------	-----------

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
I 教育・研究活動	1 教育課程の組織的・体系的な編成と改善	① DPを軸にした教育課程の組織的・体系的編成と継続的改善	3	1	2					3	
		② 高大接続による入学前学習指導・教育の整備	2		2					2	
		③ 導入教育の改善	3		1	2				3	
		④ 教養教育（共通教育科目）の検証と充実	3	1	2					3	
		⑤ 国家資格教育の検証と改善	4		2	1		1		4	
		⑥ 法学部2学科体制の整備	2			1	1			2	
		⑦ 教職課程の法令に対応した整備と外部評価対応	2		1	1				2	
	2 教授方法の工夫・開発と効果的な授業実施	① 教育諸制度の点検と継続的改善	4	1		2	1			4	
		② 授業評価の実質化と活用	1					1		1	
	3 単位・卒業等認定基準の明確化と実質化	① 単位認定制度の実質化	3	1				2		3	
		② 卒業等認定制度の検証と実質化	1		1					1	
	4 学修成果のモニタリングとフィードバック	① 学修成果の可視化とASPの検討と改善	1		1					1	
		② ディプロマサプレメントの改善	3		1			2		3	
	5 大学院教育の整備・強化	① 大学院教育の整備	4	2	2					4	
		② 大学院授業料免除制度の整備	1		1					1	
	6 研究活動の推進	① 公正な研究の推進	2		1	1				2	
		② 研究環境・支援の充実	3				2	1		3	
	7 グローバル化の推進	① 大学のグローバル化の検証と改善	6	1			3	2		6	
	II 学生支援・キャリア形成支援	1 適応支援の継続的改善	① 障がいのある学生への支援制度の検証と改善	4		3	1				4
			② 学生支援センター・室の機能の検証と改善	5	1	4					5
		2 学修支援・成長力支援	① 学習力不足の学生、学修意欲が低下している学生（学修困難者）への支援体制の構築	2			2				2
3 進路支援		① 進路支援体制の検証と改善（支援効率の向上）	7		5	1		1		7	
		② 教育課程内外でのキャリア教育の検証と改善	3			1	1	1		3	
4 資格教育		① 資格取得支援体制と内容の検証・改善	4		1	3				4	
5 学生の意見・要望への対応と学生サービス		① 多チャンネル方式による学生の意見・要望の汲み上げと反映	1				1			1	
		② 学生支援関連の諸制度（特待生、奨学生等）の点検と整備	4		2	1		1		4	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
III 管理運営	1 大学の個性・特色・強みの伸長	① 使命・目的及び教育目的～三つのポリシーの整合性の検証と改善	4		3	1					4
		② 大学内部・外部の状況に関するIR活動の充実	2		1	1					2
	2 内部質保証の深化	① 内部質保証のポリシー実現の自律化	2		2						2
		3 教学マネジメントの機能性の向上	① 学教法以下に適合する学内制度の継続的整備	1	1						
	② 大学管理運営の確実化に向けた体制整備		4		4						4
	③ 事務局組織の機能性の検証と効率化		1		1						1
	4 教員配置等の最適化	① 教員配置等の検証と再構築	2		2						2
	5 戦略的FD・SD活動の確立	① 教職員の能力開発に必要な研究・研修の推進	4		1	2		1			4
	6 健全な財務基盤と会計	① 中長期的な適切な財務運営への貢献	1		1						1
		② 科研費等競争的資金獲得の推進	1			1					1
		③ 校費等執行の厳正な管理	2		2						2
	7 ハラスメント防止の推進	① ハラスメント防止	1		1						1
	8 教育研究環境の整備	① 校地、校舎等の教育研究環境の整備と適切な運営・管理	1			1					1
		② 施設の有効利用と利便性の向上	5		1	4					5
③ 情報環境の整備		2		1	1					2	
IV 学生受入れ	1 学生募集の強化	① 募集・広報活動の質的強化	13	1	6	3		2	1	13	
		② 高大連携活動の推進	2	2						2	
	2 入学者選抜制度の整備による確実な入学定員管理	① 国の大学入試制度改革に対応した選抜方法の継続的改善	4	1	3					4	
		② 入学者選抜手法の定着による定員管理の確実化	1		1					1	
		③ 大学院学生定員の確保と管理	3		2	1				3	
V 社会連携	1 社会連携の推進	① 社会連携センターの活動の検証と改善	4		1	2	1			4	
		② 地域と共に成長する教育の実質化	2		2					2	
		③ 生涯学習事業に関する検証と改善	3		1	1	1			3	
		④ 地域社会のニーズを汲み取った大学運営	2		2					2	
合計			145	13	70	35	11	15	1	145	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
I 教育研究活動	1 「学びの質」の向上	① アセスメント・ポリシーならびにカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを踏まえた学習成果の定期的な見直し	2		2						2
		② 学習支援・履修指導の充実	5		3	2					5
		③ 留学生および社会人教育の在り方の検討	3		3						3
		④ 学外組織との連携強化	1		1						1
	2 教育課程の検証	① 教育課程（特に専門教育）及びカリキュラム・ポリシーの検証 定期的な見直し	1			1					1
		② 教養教育の検証	1		1						1
		③ グローバル化への対応	2		2						2
	3 学びの可視化に基づく教育方法の検証	① 学びの可視化の検証	2		1	1					2
		② 適切な学習量の検証	1			1					1
		③ アセスメント・ポリシーの着実な遂行	2			2					2
	4 ICT化の推進	① ICT環境の充実	2		1	1					2
		② 学生・教職員のICTスキル向上	1		1						1
	5 キャリア教育・支援の充実	① キャリア系科目の充実	1		1						1
	6 研究活動の充実	① 学内における研究活動の促進	1		1						1
		② 外部研究資金獲得の促進	1			1					1
	II 学生支援	1 多様な学生に対する支援の充実	① 多様な学生に対する支援の充実	4		4					
2 特待生・奨学生制度の充実		① 特待生・奨学生制度の充実	2	1	1						2
3 学習環境の充実		① ICT環境の充実	2		1	1					2
4 進路支援の充実		① 事業所の情報把握と組織的関係の構築	2		1	1					2
		② 公務員、教員採用試験、進学対策の支援	1			1					1
		③ 資格取得支援の充実	1		1						1
		④ 進路支援方法の検証	1		1						1
5 進路支援体制の充実		① 効果的な進路支援体制の構築	4		4						4
6 安全かつエコロジカルな機能性の高い施設・設備の整備		① 学生満足度を高めるアメニティの整備	2		2						2
		② バリアフリー化の推進	1			1					1
	③ 学生寮の充実	1		1						1	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
Ⅲ 管理運営	1 政策・制度変更等への的確な対応	① 政策・制度変更等への的確な対応	2		2						2
	2 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	① 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	1			1					1
		② 入試出願から入学までのデータ管理プロセス一元化	1			1					1
	3 組織体制の検証	① 組織体制の検証	3		1	1	1				3
	4 FD・SDの推進	① FD・SDの推進と学内研修体制の充実	3			2	1				3
	5 ガバナンスの充実	① 教職協働体制の推進	1			1					1
		② コンプライアンスの徹底	1		1						1
	6 危機管理体制の充実と高度化	① 危機管理体制の充実と高度化	4		2	2					4
	7 学内ブランディングの構築	① めざす「KAJOTANの姿」の設定	2			2					2
	8 施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	① 施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	3		1	1	1				3
9 私学助成補助金等の獲得推進と教育施設の充実	① 私学助成補助金等の獲得推進と教育施設の充実	1			1					1	
10 調査資料に基づく教育内容・方法の改善	① 調査資料に基づく教育内容・方法の改善	1					1			1	
Ⅳ 学生受入	1 高大接続の充実	① アセスメント・ポリシーを踏まえたアドミッション・ポリシーの定期的な見直し	2		1			1			2
	2 入学定員の充足	① 入学試験の検証	2		2						2
		② 募集活動の充実	2			1				1	2
		③ 同窓生との連携	1			1					1
		④ 広報活動の充実	2		1	1					2
Ⅴ 社会貢献	1 地域貢献	① 公開講座の充実	1		1						1
	2 地域創生・連携	① 自治体・企業・団体等との連携	2	1	1						2
		② 他大学等との連携	1		1						1
		③ 社会情勢に対応した連携方法の開発	1			1					1
	3 卒業生との連携	① 卒業生との連携	1			1					1
		② リカレント教育の実施	2		1					1	2
合計			87	2	48	30	3	2	2	87	

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
I 進学校としての教育活動の推進	1 教育理念に基づいた教育方針の再確認	① 教育方針の再確認, 明確化	1		1						1
		② 教職員間における教育理念, 教育方針の共通理解	1		1						1
	2 学力開発・人間性開発の推進	① 教育課程の充実	3		2	1					3
		② 学力開発の充実	6		3	2	1				6
		③ 人間性開発の充実	4		2	1		1			4
		④ いじめ防止の徹底	2		2						2
		⑤ ICTを活用した教育の充実	4		2	2					4
	3 グローバル化への対応	① 留学生受入体制の整備	1			1					1
		② 短期留学プログラムの研究	1				1				1
	4 キャリア教育の充実	① ライフスキル教育の導入	1			1					1
		② インターンシップの研究	1			1					1
		③ 後援会・卒業生の活用	1		1						1
	II 教育環境の充実	1 ICT機器の導入および研究	① 情報共有システムの整備	1		1					1
		2 学校施設および機器の整備	① 学校施設の整備	1		1					1
3 寮環境の充実		① 寮環境の整備	2			1	1			2	
III 機能的な学校運営	1 組織力の向上	① 校務分掌の再構築	2			2				2	
		② 教職員のスキル向上	1			1				1	
		③ 教職員配置の検討	1		1					1	
	2 情報共有による業務の効率化	① 情報共有の強化	2			2				2	
	3 各種制度の検証と構築	① 奨学金制度の検証と構築	1		1					1	
		② 特待生制度の検証と構築	1		1					1	
	4 各種評価制度の充実	① 学校評価制度の充実	2					2		2	
		② 授業評価制度の充実	1					1		1	
	5 学校運営に関する意識の向上	① コンプライアンスの確認と徹底	1			1				1	
		② 危機管理の徹底	1					1		1	

組織名称

志学館高等部・中等部

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
IV	生徒募集対策	1 入学定員の充足	① 募集活動の強化	2			2				2
			② 広報力の強化	2			2				2
			③ 広報部門の見直し	1			1				1
V	学園内外との連携	1 同窓会・後援会との連携	① 同窓会・後援会との連携強化	2			1	1			2
		2 設置校との連携	① 設置校との連携	3		1	1	1			3
合計				53	0	20	23	5	5	0	53

組織名称

鹿児島女子短期大学附属
かもめ幼稚園

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
				S	A	B	C	D	N	計
I 幼稚園教育	1 幼稚園教育の充実	① 日々の教育の充実	3	2			1			3
		② 特別な支援を必要とする園児への支援の充実	2		1	1				2
		③ 就学を意図した教育の充実	2	1		1				2
		④ 特色ある教育の充実	1			1				1
II 制度・設備	1 制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1				1			1
		② 後援会・クラス役員の活動内容の精査	1		1					1
	2 施設設備の充実	① 教育環境の充実	1				1			1
		② 管理運営環境の充実	1			1				1
		③ ICT環境の充実	1		1					1
		④ バス運行内容の精査	1			1				1
III 管理運営	1 労務環境の充実	① 人材の安定確保	1			1				1
		② 業務内容の精査	2			2				2
		③ 研修制度の充実	2	1	1					2
IV 園児募集	1 広報の充実	① 園児募集活動の強化	3		1	2				3
		② 「幼稚園教育の良さ」の広報	1			1				1
		③ 新たな広報戦略の検討	3		1	1	1			3
V 学園内外との連携	1 社会連携	① 子育て支援の充実	1			1				1
		② 地域社会との連携	1			1				1
		③ 卒園児との連携	1				1			1
	2 設置校・姉妹園との連携	① 三園合同の取組事項の精査	1		1					1
		② 設置校との連携強化	2				1	1		2
合計			32	4	7	13	7	1	0	32

組織名称

鹿児島女子短期大学附属
なでしこ幼稚園

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
				S	A	B	C	D	N	計
I 幼稚園教育	1 幼稚園教育の充実	① 日々の教育の充実	3		3					3
		② 特別な支援を必要とする園児への支援の充実	1		1					1
		③ 就学を意図した教育の充実	2		1	1				2
		④ 特色ある教育の充実	2		1			1		2
II 制度・設備	1 制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1				1			1
		② 後援会・クラス役員の活動内容の精査	1		1					1
	2 施設設備の充実	① 教育環境の充実	1		1					1
		② 管理運営環境の充実	1		1					1
		③ ICT環境の充実	1	1						1
		④ バス運行内容の精査	1		1					1
III 管理運営	1 労務環境の充実	① 人材の安定確保	1		1					1
		② 業務内容の精査	2			2				2
		③ 研修制度の充実	2		1	1				2
IV 園児募集	1 広報の充実	① 園児募集活動の強化	2		2					2
		② 「幼稚園教育の良さ」の広報	2		2					2
		③ 新たな広報戦略の検討	3		2	1				3
V 学園内外との連携	1 社会連携	① 子育て支援の充実	1				1			1
		② 地域社会との連携	1			1				1
		③ 卒園児との連携	1		1					1
	2 設置校・姉妹園との連携	① 三園合同の取組事項の精査	1		1					1
		② 設置校との連携強化	1		1					1
合計			31	1	21	6	2	1	0	31

組織名称

鹿児島女子短期大学附属
すみれ幼稚園

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
				S	A	B	C	D	N	計
I 幼稚園教育	1 幼稚園教育の充実	① 日々の教育の充実	3	1	1			1		3
		② 特別な支援を必要とする園児への支援の充実	2	1	1					2
		③ 就学を意図した教育の充実	2		2					2
		④ 特色ある教育の充実	2		1	1				2
II 制度・設備	1 制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1					1		1
		② 後援会・クラス役員の活動内容の精査	2			1	1			2
	2 施設設備の充実	① 教育環境の充実	1		1					1
		② 管理運営環境の充実	1		1					1
		③ ICT環境の充実	1				1			1
		④ バス運行内容の精査	1		1					1
III 管理運営	1 労務環境の充実	① 人材の安定確保	1			1				1
		② 業務内容の精査	2		1	1				2
		③ 研修制度の充実	2		1		1			2
IV 園児募集	1 広報の充実	① 園児募集活動の強化	2			2				2
		② 「幼稚園教育の良さ」の広報	2	1		1				2
		③ 新たな広報戦略の検討	2			2				2
V 学園内外との連携	1 社会連携	① 子育て支援の充実	1			1				1
		② 地域社会との連携	2			1		1		2
		③ 卒園児との連携	2			1		1		2
	2 設置校・姉妹園との連携	① 三園合同の取組事項の精査	1		1					1
		② 設置校との連携強化	1			1				1
合計			34	3	11	13	3	4	0	34

組織名称

なでしこ保育園

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
				S	A	B	C	D	N	計
I 保育	1 保育の充実	① 日々の保育の充実	1		1					1
		② 特別に支援を必要とする園児への支援の充実	2		1		1			2
		③ 就学を意図した教育の充実	1		1					1
		④ 特色ある保育の充実	2	1	1					2
II 制度・設備	1 制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1			1				1
	2 施設設備の充実	① 保育環境の充実	1		1					1
		② 管理運営環境の充実	1		1					1
		③ ICT環境の充実	1		1					1
III 管理運営	1 労務環境の充実	① 人材の安定確保	1		1					1
		② 業務内容の精査	2		1	1				2
		③ 研修制度の充実	2			1	1			2
IV 園児募集	1 広報の充実	① 園児募集活動の強化	1		1					1
V 学園内外との連携	1 社会連携	① 子育て支援の充実	1		1					1
		② 地域社会との連携	1			1				1
		③ 卒園児との連携	1			1				1
	2 設置校・姉妹園との連携	① 設置校との連携強化	1		1					1
合計			20	1	12	5	2	0	0	20

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
				S	A	B	C	D	N	計
I 「経営力」の向上	1 健全経営を行うための管理運営体制の強化	① 健全な法人運営プロセスの強化	1		1					1
		② 相互チェック機能体制の強化	1		1					1
		③ 私立学校ガバナンス改革への対応	1		1					1
	2 コンプライアンスの徹底とリスク管理・危機管理体制の強化	① コンプライアンスの周知と徹底	1		1					1
		② リスク管理・危機管理体制の強化	2		1	1				2
	3 定量的目標に基づく財政基盤の維持・向上	① 事業活動収支計画の策定と実行	2		1	1				2
		② 適確な予算編成と厳格な予算執行	1		1					1
		③ 教育活動収入価格設定の検証と時宜改訂	1			1				1
		④ 外部資金増加策の推進	1			1				1
	II 「組織力」の強化	1 働き方改革への取組み	① 働き方に相応する労働時間制度の導入	2		2				
② リモートワーク環境の整備			2			1	1			2
③ 各種休暇取得の推進			2		2					2
④ 健康相談体制の充実			1			1				1
2 働きがいのある人事制度・人材育成への取組み		① 事務職員の人事制度の設計と運用	3			2	1			3
		② 雇用制度・形態の整備	2				2			2
		③ 事務職員の研修制度の充実	1			1				1
		④ 幼稚園・保育園教育職員の処遇改善の設計と運用	2		1	1				2
3 事務組織体制の強化		① 経営戦略に即した事務組織の編成	2		2					2
4 連携力の構築		① 本部・設置校間の連携強化	2		1	1				2

組織名称

学 園 本 部

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価							
				S	A	B	C	D	N	計	
Ⅲ 「革新力」の創出	1 ICT環境整備による業務改革	① ICT環境の構築による事務処理の合理化	5		1	4					5
		② DXの推進	2			2					2
	2 本部コンサルティング機能の充実	① 適正人員の配置	1		1						1
		② 募集戦略の活性化	1		1						1
		③ 広報体制の強化	2			2					2
		④ 教育施設設備の充実	2			2					2
		⑤ 多文化共生社会への対応	1			1					1
		⑥ 学園の将来構想の検討	1			1					1
	3 新規事業による収益事業の創出	① 新たな事業の創出	2			2					2
	合計			47	0	18	25	4	0	0	47

4. 令和4年度設置校別KPI達成度評価

設置校名	基本計画	2022年度		
		KPI	達成度	詳細
志 学 館 大 学	I 教育・研究活動	①科研申請率：50%	①17%	①2022年度申請件数/教員数(申請締切時点)
	II 学生支援・キャリア形成支援	①中途退学率：3%以下 ②就職率：99%	①2.8% ②98.4%	①A/B*100 A：中途退学学生数 42人(2023/5/1時点) 【退学38人, 除籍4人】 B：在籍学部学生数 1499人(2022/5/1時点) ②2022年度卒業生就職内定率(2023/4/25時点) 244人(就職内定者数)/248人(就職希望者数)*100
	III 管理運営	①S/T比 28以内 ②教員人件費インデックス 対(2016年度値×収容定員増加率)比 ※教員人件費インデックスとは、各教員の給与表額の合計 値1以下 ③コンプライアンス啓発活動数 4回	①25.8 ②<削除> ③2回	①学生数/教員数 ②<削除> ③活動数(2022年度末時点)
	IV 学生受入れ	①高大連携高校数 20校 ②入学定員充足率 (学士課程) 1.14 (大学院課程) 1.00 ③収容定員充足率 (学士課程) 1.00以上 (大学院課程) 1.00以上	①14校 ②(学士課程) 1.02 (大学院課程) 1.50 ③(学士課程) 1.10 (大学院課程) 1.30	①(2022年度末時点) ②基準日 2022/5/1 (学士課程) 361人(2022年度入学者数)/345人(入学定員) (大学院課程) 15人(2022年度入学者数)/10(入学定員) ③基準日2022/5/1 (学士課程) 1499人(在籍学生数)/1365人(収容定員) (大学院課程) 26人(在籍学生数)/収容定員20人(収容定員)
	V 社会連携	①包括連携協定数 10件 ②社会連携活動件数 20件	①4件 ②44件	
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	I 教育研究活動	①学生満足度(授業) 80%	①89.8%	①「学生による授業評価」質問項目(19)「この授業を総合的に1~5の5段階で評価してください。」の割合 4(どちらかというとも良い) 5(良い) 計 前期：35.6% 54.0% 89.6% 後期：37.7% 52.3% 90.0% (89.6+90.0)/2=89.8%
	II 学生支援	①学生満足度(キャンパスライフ等) 80% ②就職率 97%	①学生満足度：94.1% ②就職率：98.7%	①令和4年度学生満足度調査「学生生活全般の満足度」 (「満足」276+「やや満足」281)/回答数592 ②就職者数/就職希望者数 (「就職者数」314/「就職希望者数」318)
	III 管理運営	①外部資金申請数 5件以上	①6件	
	IV 学生受入	①入学定員充足率 100%	①81.9%	①入学者数303人/入学定員370人
	V 社会貢献	①年間公開講座開催数 7件 ②連携活動件数 35件 ③ボランティア実施件数 15件	①10件 ②45件 ③16件	
志 学 館 中 学 等 学 校	IV 生徒募集対策	①入学者数 15%増 ②学校説明会参加者数 20%増	①35.7%増 ②7.8%減	①(R5)95/(R4)70 ②(R4)200/(R3)217
幼 か 稚 も 園 め	IV 園児募集	①未就園児クラブの会員数 充足率90% ②未就園児クラブ在籍児の入園手続率 手続率80% ③HPへの出稿数 月8件	①72% ②56% ③月平均19件	①実会員数36組/定員50組 ②入園児数20組/会員数36組 ③年間出稿数230件/12か月=月平均19件
な で し こ 稚 児 園	IV 園児募集	①未就園児クラブの会員数 充足率90% ②未就園児クラブ在籍児の入園手続率 手続率80% ③HPへの出稿数 月8件	①98% ②61% ③月平均10回以上の更新	①49組加入/目標とした50組 = 98% ②年少少組手続率23組年少組7組/49組 = 61% ③HP出稿数132回/12か月 = 月平均11回の出稿
幼 す 稚 み 園 れ	IV 園児募集	①未就園児クラブの会員数 充足率90% ②未就園児クラブ在籍児の入園手続率 手続率80% ③HPへの出稿数 月8件	①75% ②60% ③月平均12.3件	①会員数30人/定員40人 ②入園者数18人/会員数30人 ③HP出稿数148件/12か月
な で し こ 保 育 園	I 保育	①保護者へのICT連絡帳への写真添付 週1回以上	①週2.6回(平均)	①15.2(各年次の週平均合計)/6(年次の数<0歳~5歳>)=2.53...
	IV 園児募集	①HPへの出稿数 月10件	①月19件(平均)	①229件(年間)/12か月=19.083...
学 園 本 部	I 「経営力」の向上	①経常収支差額比率 8.0%以上 ②教育研究経費比率 29.5%以上 ③管理経費比率 6.5%以下 ④人件費比率 56.5%以下	①8.0% ②29.6% ③6.5% ④55.7%	①経常収支差額296,893,893円/経常収入3,700,303,985円 ②教育研究経費1,094,018,617円/経常収入3,700,303,985円 ③管理経費239,108,217円/経常収入3,700,303,985円 ④人件費2,061,886,263円/経常収入3,700,303,985円

V 財務の概要

1. 令和4年度決算の概要

事業活動収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、定量的経営判断指標について、当期の財務概況を前年度決算額と対比し、主な増減について説明する。

【事業活動収支計算書】

令和4年度は第4次経営計画の初年度であり、経常収支差額は296,894千円（前年比△24,141千円）、経常収支差額比率は8.0%（前年比△0.7P）となった。

収入及び支出の科目詳細については、下記のとおりである。

（教育活動収支）

〔収入〕 学生生徒等納付金は、学生生徒園児数は前年比△45名（大学、短大、中高：合計+2名、幼稚園合計△47名）減少したが、大学の休学者減少による納付金増加等もあり、△4,894千円となった。経常費補助金は、大学の改革総合支援事業の採択に伴う一般補助及び特別補助の増加等により+28,104千円となった。付随事業収入は受託事業収入の増加等により+5,347千円、雑収入は退職金財団交付金の減少等により△34,661千円となった。

この結果、教育活動収入の合計は△8,003千円で3,691,298千円となった。

〔支出〕 人件費は、退職金及び退職給与引当金繰入額の減少等により△25,624千円、教育研究経費は、電気代値上による光熱水費の増加等により+17,333千円、管理経費は、光熱水費の増加や補助活動事業支出の増加等により+20,462千円となった。

この結果、教育活動支出の合計は+13,897千円で3,399,586千円となった。

これらの結果、教育活動収支差額は△21,900千円で291,712千円となった。

（教育活動外収支）

教育活動外収支差額は△2,241千円で5,182千円となった。

（経常収支差額）

経常収支差額は、△24,141千円で296,894千円となった。

（特別収支）

特別収支差額は、施設設備補助金の減少や建物の除却損などにより、△11,239千円で△25,534千円となった。

（基本金組入前当年度収支差額）

事業活動収入は△19,944千円で3,716,802千円、事業活動支出は+15,436千円で3,445,442千円、基本金組入前当年度収支差額は△35,380千円で271,360千円となった。

財務比率に関しては、経常収支差額比率8.0%（-0.7P）、事業活動収支差額比率7.3%（-0.9P）、人件費比率55.7%（-0.6P）、教育研究経費比率29.6%（+0.6P）、管理経費比率6.5%（+0.6P）で、定量的経営判断指標はA3となった。

【資金収支計算書】

(収入の部) 資産売却収入は、株式相場が極めて不安定な為、有価証券の売買を行わなかったことにより、△204,443千円となった。借入金等収入は、新規借入は無しの為△634,000千円、前受金収入は入学者の減少により△60,317千円、その他収入は前期末未収入金の増加等により+35,443千円、これらにより収入の部合計は△812,305千円で6,208,281千円となった。

(支出の部) 人件費支出は退職金支出の減少等により△28,990千円、施設・設備関係支出は施設設備投資額の減少により△657,859千円、資産運用支出は相場が不安定な為有価証券の購入を控えたことにより△499,652千円、その他の支出は前期末未払金支出の増加等により+19,402千円、これらにより支出の合計は△1,375,708千円で3,328,875千円となった。

この結果、翌年度繰越支払資金は+563,403千円で2,879,406千円となった。

【貸借対照表】

固定資産は、すみれ寮監舎の解体や生徒ホール改修工事による除却損等で△155,918千円、流動資産は有価証券の売却や現金預金の増加等により+312,243千円となった。

この結果、資産の部合計は+156,325千円で17,471,949千円となった。

負債の部合計は、入学者減に伴う前受金の減少や借入金返済等により△115,035千円で1,813,902千円となった。

基本金は、△11,843千円で19,058,915千円となった。

学園の財産状況については、純資産が+271,360千円で15,658,047千円となった。

貸借対照表の財務比率に関しては、純資産構成比率89.6%(+0.7P)、流動比率499.7%(+86.7P)、前受金保有率1,050.1%(+277.8P)、積立率48.6%(+5.2P)となった。

【経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策】

第4次経営計画（志學館学園未来計画2022－2027）の初年度である令和4年度決算は、296百万円の経常収支差額（比率8.0%）を確保し、定量的経営判断指標では正常状態のA3を維持した。

学校別では、大学は前年比14名減少したが定員充足率100%を超過しており、415百万円の収益を上げ学園の財務の中核を担っている。短大は前年比50名増加し、収容定員充足率は前年比+6.8%の96.4%と改善して経常収支差額は△19百万円となったが、今後の全国的な短期大学募集実態を鑑みると、依然として厳しい状況が想定される。中等部に関しては前年比34名減少し収益が22百万円低下した事実を踏まえ、教職員全員で募集対策に取り組んでおり、令和5年度入学者は前年比25名増加し、成果は表れている。

幼稚園全体も前年比47名減少した為、危機感を持って懸命な募集対策を実施している。

定員確保を目標に、設置校間で偏りが無い様に、バランスの良い健全な財務体質を構築することが今後の課題である。

学園全体で募集広報活動に注力し、採択制の補助金、寄付金、事業収入など、あらゆる収入増加方策を図り、経費の見直しに伴う支出の削減と効率化は今後も継続的に推進する。

学生・生徒・園児の確保を第一に、将来の施設設備拡充の為に資金の積立強化を図り、強固な財務基盤を構築し、安定した財務運営を目指す方針である。

1. ① 事業活動収支計算書及び財務比率（経年比較）

単位：千円

		勘定科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収支	教育活動収入	学生生徒等納付金	2,397,134	2,420,988	2,487,316	2,496,058	2,491,164
		手数料	36,121	37,590	35,012	35,962	31,850
		寄付金	2,285	18,423	6,477	1,890	4,103
		経常費補助金	924,522	805,682	877,742	884,370	912,474
		付随事業収入	122,482	116,435	103,874	131,515	136,862
		雑収入	128,402	131,217	98,520	149,506	114,845
		収入計 ①	3,610,946	3,530,335	3,608,941	3,699,301	3,691,298
	教育活動支出	人件費	2,043,858	2,061,328	2,014,209	2,087,510	2,061,886
		教育研究経費	972,004	974,434	1,064,208	1,076,640	1,093,973
		管理経費	236,019	234,936	208,539	218,693	239,155
		徴収不能等	1,913	4,268	6,007	2,846	4,572
		支出計 ②	3,253,794	3,274,966	3,292,963	3,385,689	3,399,586
		教育活動収支差額 ①-②	357,152	255,369	315,978	313,612	291,712
	外収入	受取利息・配当金	2,519	4,411	6,448	6,433	4,938
		収益事業収入	8,945	5,813	5,958	3,456	4,068
		収入計 ③	11,464	10,224	12,406	9,889	9,006
	外支出	借入金等利息	2,494	1,728	1,326	2,466	3,824
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		支出計 ④	2,494	1,728	1,326	2,466	3,824
		教育活動外収支差額 ③-④	8,970	8,496	11,080	7,423	5,182
	経常収支差額	366,122	263,865	327,058	321,035	296,894	

特別収支	特別収入	資産売却差額	19,775	0	52,764	9,349	4,644
		現物寄付	2,934	2,523	3,250	2,454	7,096
		施設設備補助金	22,227	7,448	14,581	15,753	4,515
		過年度修正額	0	505	0	0	243
		収入計 ⑤	44,936	10,476	70,595	27,556	16,498
	特別支出	資産処分差額	31,424	78,919	83,668	36,583	41,832
		過年度修正額	2,730	4,298	28,358	5,268	200
		支出計 ⑥	34,154	83,217	112,026	41,851	42,032
		特別収支差額 ⑤-⑥	10,782	△ 72,741	△ 41,431	△ 14,295	△ 25,534

経常収入 計	3,622,410	3,540,559	3,621,347	3,709,190	3,700,304
経常支出 計	3,256,288	3,276,694	3,294,289	3,388,155	3,403,410
事業活動収入 計	3,667,346	3,551,035	3,691,942	3,736,746	3,716,802
事業活動支出 計	3,290,442	3,359,911	3,406,315	3,430,006	3,445,442

基本金組入前当年度収支差額	376,904	191,124	285,627	306,740	271,360
---------------	---------	---------	---------	---------	---------

財務比率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収支差額比率	10.1%	7.5%	9.0%	8.7%	8.0%
事業活動収支差額比率	10.3%	5.4%	7.7%	8.2%	7.3%
人件費比率	56.4%	58.2%	55.6%	56.3%	55.7%
教育研究経費比率	26.8%	27.5%	29.4%	29.0%	29.6%
管理経費比率	6.5%	6.6%	5.8%	5.9%	6.5%

② ア) 資金収支計算書 (経年比較)

単位：千円

勘定科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒等納付金収入	2,397,134	2,420,988	2,487,316	2,496,058	2,491,164
手数料収入	36,121	37,590	35,012	35,962	31,850
寄付金収入	2,285	18,423	6,478	1,890	4,103
補助金収入	946,749	813,130	892,323	900,123	916,988
資産売却収入	569,544	0	1,346,661	408,826	204,383
付随事業・収益事業収入	131,427	121,089	108,368	135,087	141,027
受取利息・配当金収入	2,519	4,410	6,448	6,433	4,938
雑収入	128,402	131,217	98,520	149,396	115,088
借入金等収入	0	0	78,100	634,000	0
前受金収入	395,611	375,165	418,302	358,860	298,543
その他の収入	254,047	138,089	161,123	131,985	167,428
資金収入調整勘定	△ 552,906	△ 552,330	△ 509,031	△ 586,221	△ 483,235
前年度繰越支払資金	1,258,423	1,758,598	1,765,940	2,348,187	2,316,004
収入の部 合計	5,569,356	5,266,369	6,895,560	7,020,586	6,208,281
人件費支出	2,047,661	2,093,587	2,018,841	2,088,294	2,059,304
教育研究経費支出	630,131	640,663	757,560	742,215	749,723
管理経費支出	189,134	186,859	152,407	164,277	183,567
借入金等利息支出	2,494	1,728	1,326	2,466	3,824
借入金等返済支出	180,000	70,000	148,100	259,000	65,000
施設関係支出	161,126	75,411	200,625	860,752	161,420
設備関係支出	140,158	116,528	101,740	76,196	117,669
資産運用支出	299,871	294,553	1,098,911	499,654	2
その他の支出	338,687	238,876	234,940	196,558	215,960
資金支出調整勘定	△ 178,504	△ 217,776	△ 167,077	△ 184,829	△ 227,594
翌年度繰越支払資金	1,758,598	1,765,940	2,348,187	2,316,003	2,879,406
支出の部 合計	5,569,356	5,266,369	6,895,560	7,020,586	6,208,281

イ) 活動区分資金収支計算書 (経年比較)

単位：千円

	科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動による資金収支	教育活動資金収入計	3,610,946	3,529,176	3,607,478	3,699,308	3,691,394
	教育活動資金支出計	2,864,196	2,916,876	2,928,808	2,994,786	2,992,394
	差引	746,750	612,300	678,670	704,522	699,001
	調整勘定等	△ 44,872	△ 48,026	15,408	△ 34,821	△ 39,589
	教育活動資金収支差額	701,877	564,274	694,078	669,701	659,412
	施設整備等活動による資金収支	施設整備等活動資金収入計	22,227	7,448	14,581	15,753
施設整備等活動資金支出計		301,284	191,940	302,365	936,947	279,090
差引		△ 279,057	△ 184,492	△ 287,784	△ 921,194	△ 274,575
調整勘定等		△ 19,118	△ 11,798	△ 21,474	△ 68,028	35,536
施設整備等活動資金収支差額		△ 298,175	△ 196,290	△ 309,258	△ 989,223	△ 239,038
小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)		403,702	367,985	384,820	△ 319,522	420,374
その他の活動による資金収支	その他の活動資金収入計	581,749	12,161	1,447,715	1,052,714	216,239
	その他の活動資金支出計	485,276	372,803	1,250,288	765,376	73,041
	差引	96,473	△ 360,642	197,427	287,339	143,198
	調整勘定等	0	0	0	0	170
	その他の活動資金収支差額	96,473	△ 360,642	197,427	287,339	143,028
支払資金の増減額 (小計 + その他の活動資金収支差額)		500,175	7,343	582,247	△ 32,183	563,402
前年度繰越支払資金		1,258,423	1,758,598	1,765,940	2,348,187	2,316,004
翌年度繰越支払資金		1,758,598	1,765,940	2,348,187	2,316,004	2,879,406

財務比率

教育活動資金収支差額比率	19.4%	16.0%	19.2%	18.1%	17.9%
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

③ 貸借対照表（経年比較）

単位：千円

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定資産	14,470,197	14,200,286	14,031,145	14,545,216	14,389,298
有形固定資産	14,158,746	13,901,140	13,744,505	14,283,037	14,123,153
特定資産	227,753	227,754	227,756	227,758	227,760
その他の固定資産	83,698	71,392	58,884	34,421	38,385
流動資産	1,950,699	2,310,797	2,678,422	2,770,408	3,082,651
資産の部合計	16,420,896	16,511,083	16,709,567	17,315,624	17,471,949

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定負債	1,125,141	1,009,463	954,638	1,257,477	1,195,978
流動負債	692,559	707,300	674,982	671,460	617,924
負債の部合計	1,817,700	1,716,763	1,629,620	1,928,937	1,813,902

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
第1号基本金	18,089,783	18,190,885	18,282,739	18,782,923	18,771,080
第2号基本金	0	0	0	0	0
第3号基本金	49,835	49,835	49,835	49,835	49,835
第4号基本金	238,000	238,000	238,000	238,000	238,000
基本金の部合計	18,377,618	18,478,720	18,570,574	19,070,758	19,058,915

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
翌年度繰越収支差額	△ 3,774,422	△ 3,684,400	△ 3,490,627	△ 3,684,071	△ 3,400,868

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
純資産の部合計	14,603,196	14,794,320	15,079,947	15,386,687	15,658,047

負債及び純資産の部合計	16,420,896	16,511,083	16,709,567	17,315,624	17,471,949
-------------	------------	------------	------------	------------	------------

財務比率

財務比率	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
純資産構成比率	88.9%	89.6%	90.2%	88.9%	89.6%
流動比率	281.7%	328.0%	397.6%	413.0%	499.7%
前受金保有率	509.2%	617.4%	646.3%	772.3%	1050.1%
積立率	35.6%	39.2%	44.3%	43.4%	48.6%

※前受金保有率は、修正前前受金保有率（運用資産／前受金）を適用。

2. その他

単位：円

① 有価証券の状況

有価証券の種類	簿価	時価	差異
債券	0	0	0
株式	27,926,495	23,850,000	△ 4,076,495
投資信託	0	0	0
合 計	27,926,495	23,850,000	△ 4,076,495

② 借入金の状況

借入先	期末残高	利率	返済期限
鹿児島銀行	75,000,000	0.85%	令和8年3月30日
鹿児島銀行	360,000,000	0.828%	令和14年3月31日
合 計	435,000,000		

③ 寄付金の状況

寄付金の種類	寄付金額
一般寄付金	948,800
特別寄付金	3,153,912
現物寄付金	7,095,505
合 計	11,198,217

④ 補助金の状況

補助金種別	補助金額
国庫補助金	531,890,400
(内、経常費補助金)	(337,787,000)
(内、修学支援交付金)	(194,103,400)
県補助金	348,116,788
市補助金	32,466,479
施設設備補助金	4,515,000
合 計	916,988,667

⑤ 収益事業

売上高	13,676,583
販売管理費	13,731,487
(内、学校会計繰入額)	(4,067,718)
法人税	446,000
当期純損失	500,874

◆ 学校法人会計 及び 用語について（解説） ◆

学校法人会計は、その事業目的において公共性が高く、企業のように営利を追求するものではないため、企業会計とは異なる学校法人会計という会計形態をとっており、学校法人の収入は極めて制約的で、増加を図ることが難しい財政構造となっている。学校法人が事業の持続性と財政の健全性を維持していくためには、長期的な視野に立った事業計画と、それを裏付ける収支均衡の取れた財政計画が必要となる。学校法人はそれを踏まえ予算に基づいた運営をしなければならず、予算と決算の差異が重視される計算書様式となっており、学校が持続性を確保するための収支均衡状態を目指すのに適した会計制度となっている。

【資金収支計算書】

・当該会計年度（4月1日～3月31日）に行った諸活動に対する全ての収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金預金等）の顛末を明らかにするものである。

資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に近いもので、前年度から繰り越された支払資金を基に、当年度の収支の結果、翌年度に繰り越される支払資金が確定する計算体系になっている。

【事業活動収支計算書】

・当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容と均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表す（収支バランスを捉える）ものである。資金の増減を伴わない取引（引当金、減価償却費等）は計上されるが、資本的支出（固定資産取得等）に充てる額は除いて計上する。本業である「教育活動収支」、本業外である「教育活動外収支」、臨時的な「特別収支」の3区分で収支の状況を把握し、分析することができる。

【貸借対照表】

・当該年度末（3月31日）時点での資産・負債・基本金の状況を表し、財政状況を明らかにするものである。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支状況を表す一方、貸借対照表は今までの財政活動における積み重ね（累積）の結果を表示する。

【経常収支差額】

・臨時的な特別収支を除く、経常的な収支バランスを表すもの。経常収支差額比率は、学校経営における利益の判断基準である。

【基本金】

・学校法人の機能を維持し、安定的かつ持続的に経営することを目指すために組み入れる。


- 第1号基本金・・校地、校舎、機器備品、図書等の自己資金による固定資産の取得価額
- 第2号基本金・・将来の固定資産取得に充てる為の施設設備投資額（計画的に組み入れる）
- 第3号基本金・・基金として継続的に保持・運用する金額（本学園は奨学金基金）
- 第4号基本金・・恒常的な支払資金に対応する運転資金額（文部科学大臣の定める額）

監査報告書

令和5年5月18日

学校法人志學館学園
理事会 御中

学校法人 志學館学園

監事 大津 学 

監事 久永 修平 

私たちは、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、学校法人志學館学園の寄附行為第15条の規定に従い、学校法人志學館学園の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上